

平成26年1月6日

指定給水装置工事事業者 各位

鴻巣市長 原口 和久
(公印省略)

給水装置の構造、材質及び工法の改正について（通知）

平素より本市の水道事業につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、鴻巣市上水道給水条例第11条第2項で規定する「配水管分岐部から水道メータまでの給水装置工事に関する工法、工期その他の工事上の条件の指示」について、下記のとおり改正を行いましたので通知致します。

記

1 改正した条例等

- (1) 鴻巣市上水道給水条例施行規則
- (2) 鴻巣市給水装置の構造及び材質に関する要綱

2 施行時期

平成26年4月1日以後受理した工事申込書の給水装置工事から

3 主な改正事項（別紙1～4に詳細を記載）

- (1) 配水管分岐部から乙止水栓までの給水装置の耐圧試験の試験水圧を 1.75MPa から 0.75MPa に変更する。
- (2) 水道メータの交換作業を容易にするため、メータバルブの伸縮部に着脱可能なリングを装着する。
- (3) 铸铁管から分岐する場合、穿孔口に防食コア（密着型）の取り付けを徹底する。（従来から、穿孔端面への防食処理は、水道法施行令第5条第5号に規定された防食に関する基準です。）
- (4) 配水管分岐部の継手の材料として、「フレキシブル継手」を追加承認する。

4 その他の改正事項

- (1) 75mm以上の給水管にダクタイル铸铁管GX型を採用（従前は、K型・NS型）
- (2) 公道上に給水管を縦断配管した場合に設置する仕切弁筐について、市マー

ク入りとせず、Ⓢマークとする。(配水管と給水管を区別するため)

(3) 給水用具の規格番号の整理

5 連絡事項

給水装置に関して、材質、構造、工法等の技術面でも著しい進歩をとげております。

このことから、今後は、水道課ホームページにて、給水装置工事に関する改正・連絡事項を公表してまいりますので、適時ご覧くださるようお願い申し上げます。

インターネットで、

鴻巣市水道工事

検 索



したがいまして、「配水管から水道メータまでの給水装置工事に関する工法、工期その他の工事上の条件の指示」についての改正・連絡事項については、今後は、文書で通知する方法ではなく、インターネット（水道課ホームページ）による配信となりますので注意してください。

【相談・問い合わせ先】

建設部水道課給水担当

TEL : 048-548-1754 FAX : 048-548-5547

配水管分岐部から乙止水栓までの給水装置の
耐圧試験の試験水圧を 1.75MPa から 0.75MPa に変更する。

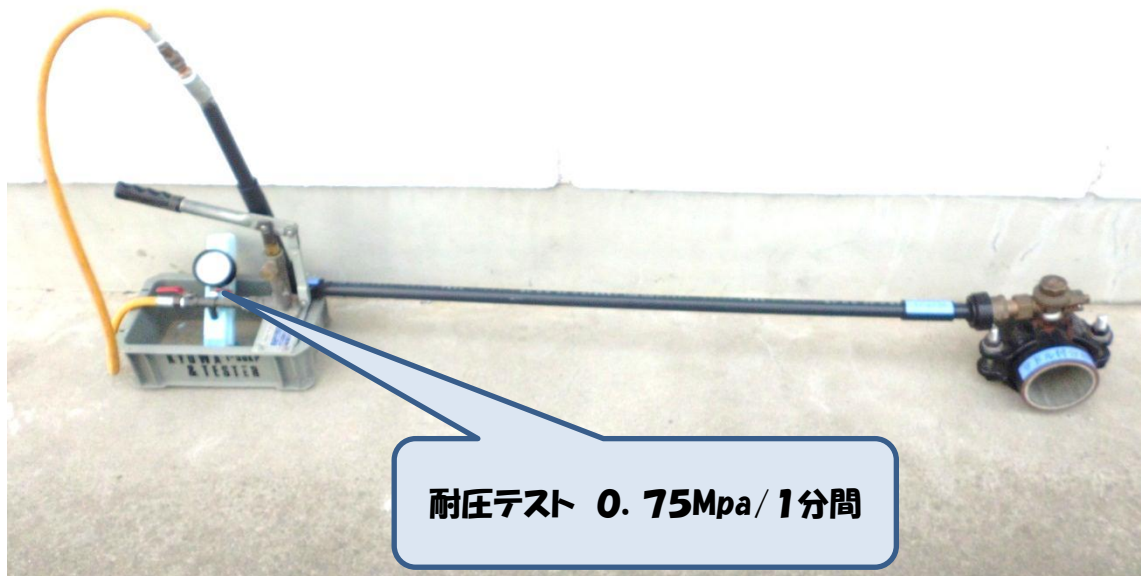
1.75Mpa / 1分間 ⇒ 0.75Mpa / 1分間

(変更理由)

給水管敷設後の耐圧試験を行う際には、加圧圧力や加圧時間を適切な大きさ、長さにしなげればならず、過大にすると分水栓等の給水用具を損傷するおそれがあるため。

(参考)

公益財団法人 給水工事技術振興財団での給水装置工事配管技能検定会では、耐圧試験水圧を「0.75MPa 1分間」とし、検定合格の判断基準としています。



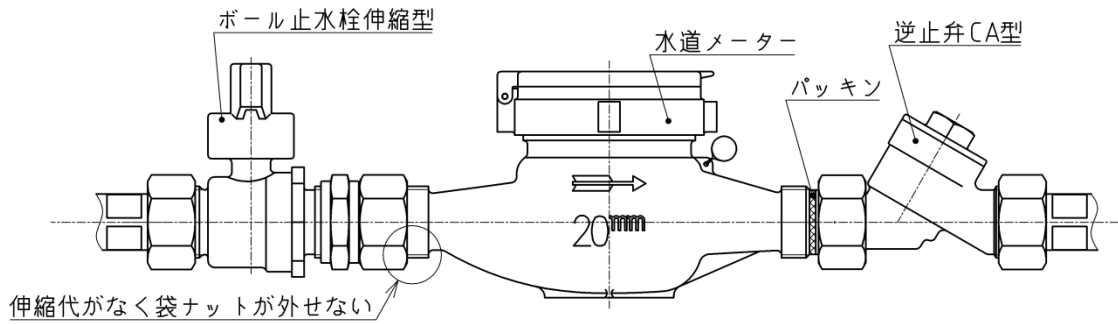
従前のおり、水道メータ以降2次側の水圧テストは、給水用具の特性を踏まえ、主任技術者の責任において実施すること。

水道メータの交換作業を容易にするため、

メータバルブの伸縮部に着脱可能なリングを装着する。

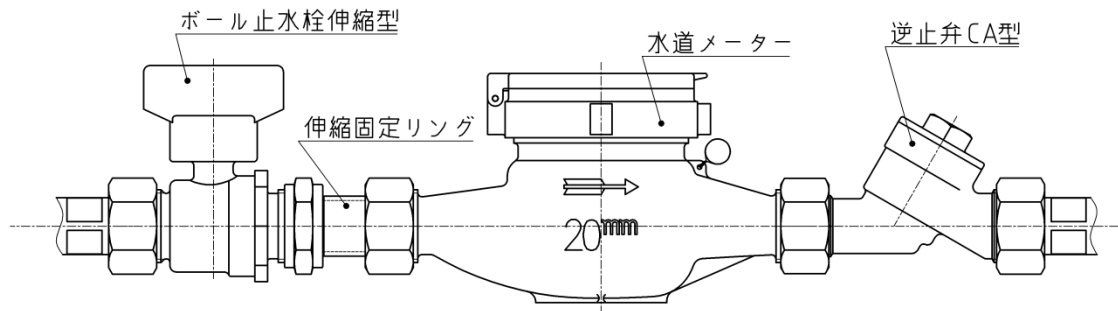
伸縮型のメータバルブは本来、伸縮量の間接寸法で取り付ける製品です。
伸縮固定リングは、その伸縮機能を適正に確保するために使用します。

伸縮部が最大に縮まった状態で取り付けてしまうと・・・

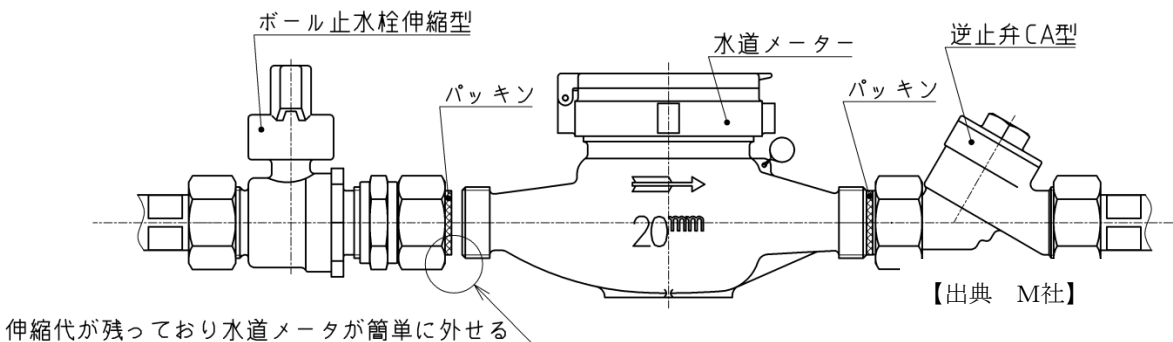


メータ交換が難しい！！

伸縮固定リングを取り付けると着脱に必要な伸縮量が確保できます。



伸縮固定リングを外すことでメータを容易に着脱できます。



※伸縮固定リングは、メーカーによりスペーサーやジョイントカラー等の名称があります。

鑄鉄管から分岐する場合、穿孔口に 防食コア（密着型）の取り付けを徹底する。

密着型コア概要

穿孔穴だけでなく、外周も含めて鑄鉄部が露出しないことで、穿孔部からの錆の発生を防ぐ防食性能の高いコア。穿孔穴に密着し、さらに分水栓にも密着することで、穿孔穴と穿孔周辺の鑄鉄部からの発錆を防いでいる。構造、寸法は各メーカー独自で設計されており、装着方法が異なるため、工具の共通使用が出来ない。

1 採用理由

穿孔面への密着度を高め穿孔穴周辺のさび発生を抑制する。

2 使用範囲

(1) 被分岐管

・ダクタイル鑄鉄の内面エポキシ樹脂紛体塗装管及びモルタルライニング管

(2) 分岐口径

・口径Φ20mm～50mm

3 仕様

銅又はステンレス製のスリーブにゴムを被覆した構造とする。

4 承認指定材料メーカー（密着型コア）

(株)キッツ、栗本商事(株)、(株)タブチ、(株)日邦バルブ、前澤給装工業(株)

5 実施日

平成26年4月1日以降の給水装置工事申込み分の穿孔工事より実施する。

6 その他

コア挿入機は製造業者及び機種等により取り扱いが異なるので必ず取り扱いを熟知し、装着する密着コアが、コア挿入機の挿入棒に対応したものあるか確認すること。穿孔時の切粉を十分に排出した後、密着型コアを装着すること。

密着型コアを挿入しない穿孔口



密着型コアを挿入した穿孔口



穴が塞がり
水が出なくなる

配水管分岐部の継手の材料として、 「フレキシブル継手」を追加承認する。

配水管からの取出し部について、これまでの伸縮可とう機能を有する継手に加えて、新たにフレキシブル継手についても使用可能となります。

• フレキシブル継手の特長

連続した波形フレキチューブを、曲げて配管することにより、各方向への柔軟性を持ち、振動や変位を吸収しやすく、大きな変化にも対応できます。よって給水管の地震対策として有効です。またフレキチューブの材質は、SUS316L であり、強靱で、耐食性に優れているため、耐久性が高くなっています。

• 仕様

- ☆ 接続部については、砲金袋ナット×H I V P管用ソケット仕様とします。
- ☆ フレキ長は500mm～です。
- ☆ 口径はΦ20、25、50です。



これまでどおり、伸縮可とう機能を有する
継手も、引き続き利用できます。

